

1月 1日 ~ 15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/01/01 (火)	東京、アジア市場ともユーロ円で休場 欧米市場ともユーロ円で休場			休 場	休 場	寄付 安値 高値 終値
08/01/02 (水)	東京休場のアジアはショートカバー的な動きから円売り優勢。一部クロスでは1円近い円安が進行した。欧米は発表された米経済指標が悪化、米株が大きく下落したこともありドルは急落、110円割れへ。	・12月の米ISM製造業景気指数47.7、11月の米建設支出0.1% ・12/6FOMC議事録「成長、インフレ見通しが悪化すれば対応の用意」		111.85 111.92 109.22 109.65	163.52 164.06 161.00 161.31	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/03 (木)	東京休場のアジアは小動き。ただ前日から一変し、クロス円ではやや円買い優勢。欧米はADP全米雇用報告が予想を上回る内容となったことでドル買い優勢。しかし上値も重く上げ渋り。	・12月のADP全米雇用報告4.0万人、11月の米製造業受注1.5% ・UAEが今後一年間はドルハッグ維持との報道あり	・OPECインドネシア理事「原油供給不足なら2月に増産へ」 ・米大統領「景気刺激策、月末28日の一般教書演説まで決定はない」	109.27 109.74 108.25 109.32	160.81 161.68 159.75 161.26	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/04 (金)	東京は大発会の日経平均が一時700円を超える下げ幅を記録、それを見て円は独歩高の様相に。欧米は弱い米雇用統計を受けてドル安が進行するも、米経済活性化を検討との報道もあり後半に急反発。	・米政府が経済活性化を検討、連銀のTAF入札規模拡大--等のニュースあり ・12月の米失業率5.0%、非同農業者雇用数1.8万人、同ISM非製造業指数53.9	・福田首相「原油100ドル、影響無視出来ない」 ・中国人民銀行「金融政策を一段と引き締める計画」 ・米大統領「米金融市場は強く、堅調」	109.52 109.54 107.90 108.60	161.48 161.51 159.78 160.10	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/07 (月)	東京は本邦個人投資家を中心としたクロス円売りでドル/円も上方向を試す展開に。欧米はCNN報道にドル安でスタートするも米株高や米景気刺激策発表の噂などからドルは反発へ。	・12月マネタリーベース0.4% ・CNN報道「ホルムズ海峡でイラン高速艇が米軍艦に威嚇」 ・米政府が景気刺激策を発表--との憶測あり	・米政府「米国はイランに対し挑発的な行動を抑えるよう求める」 ・米財務長官「住宅市場の不振はさらに悪化する可能性」 ・アトランタ連銀総裁「利下げの可能性を排除せず」	108.63 109.74 108.56 109.18	160.22 160.97 159.92 160.45	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/08 (火)	東京は日経平均の反発を受けて円安進行。とくにクロスで円が湧かない。ボンドはタイムズ報道から弱含み。欧米は一転し再び円高へ。住宅指標の悪化や米株安、米財務長官発言などから結果として円高優勢。	・英タイムズ「9-10日のBOE政策理事会で利下げの可能性高まる」 ・11月の米住宅販売保留 2.6% ・米公定歩合議事録「ボストン、サンフランシスコ、ミネアポリスは政策金利50BPの利下げを要請」	・UAE中銀総裁「ドルハッグ制を放棄する計画はない」 ・米財務長官「住宅市場の不振は予想以上」 ・FF連銀総裁「物価に警戒必要、必要であれば対応用意」	109.24 109.84 108.86 108.92	160.40 161.52 160.11 160.18	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/09 (水)	東京は米景気刺激策発表の観測などを受け円が独歩安。ドル/円も110円に急接近。欧米は米株が上昇したこともあり円が統落。ドル/円は110円台へ。一方ボンド安も止まらず。	・WSJ紙「ワッシュ」米政権が景気刺激策を検討 ・FRB議長が17日に下院予算委で米経済について証言決まる ・第3四半期ユーロ圏GDP改定値0.8%	・仏財務省「仏伊独英の財務相が17日に会合へ、ただ日程未定」(一部新聞が17日と報道)	108.98 110.13 108.83 110.04	160.27 161.66 160.09 161.32	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/10 (木)	東京は引き続き株値にらみの展開。株値が200円以上も下落したことを嫌気し円買い進む。欧米はトリエの効派発言からユーロが強含み。逆にボンドはBOE金利据え置きにも湧かない。	・12月の外貨準備高9733.65億ドル ・BOEとECBが金利据え置き決定	・武藤日銀副総裁「金融政策は慎重に判断したい」 ・ECB総裁「インフレ抑制が最優先課題」 ・FRB議長「追加利下げが必要となる可能性は十分高い」	109.89 110.09 109.11 109.33	161.13 162.20 160.59 161.83	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/11 (金)	東京はNYタイムズ報道を嫌気し日経平均が急落。円は全面高となりドル/円も1円以上下落した。欧米は米貿易赤字が拡大したことや米株安などから円は統伸。108円台のドル安値圏で越境。	・NYタイムズ「電子版」メルリンチの損失は当初から2倍の150億ドルに達する見込み ・11月の米貿易収支 631億ドル、対日 71.2億ドル、対中 239.5億ドル	・日銀総裁「上下両方向のリスクを点検しながら適切に政策運営」 ・ボストン連銀総裁「米住宅不振は消費を抑制する可能性あり」	109.63 109.72 108.63 108.85	162.23 162.28 160.65 160.84	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/14 (月)	東京休場で薄商いとなるなか、シティGの損失拡大報道を嫌気した円買い進む。欧米は円は大幅統伸し一時107円台へ。しかし米株の反発もあり、円は対ドルなどで急反落。	・シティGが最大240億ドルの評価損を計上する見通し、との一部報道 ・ECB声明「ECBは綿密に流動性状況を監視」		108.86 108.96 107.37 108.16	161.19 161.52 159.93 160.81	24H 寄付 安値 高値 終値
08/01/15 (火)	東京は依然として株値の動向にらみ右往左往。メルガン巨額損失の噂から株値が湧えず、円高へ。欧米はシティ決算や米景気悪化、米株安などから円は大幅統伸。米追加利下げ観測も急台頭。	・JPELガソリンが巨額損失公表の噂 ・1月の独ZEW業況指数 41.6 ・12月の米小売売上高 0.4%、同PPIは 0.1%、11月企業在庫0.4%、1月のNY連銀製造業業況指数9.0	・前FRB議長「米経済は景気後退に入ったか、入りつつある」 ・シティGが決算発表、四半期最終損益は98億ドル ・クワート投資庁「シティとメリルに合計50億ドルを投資」	108.25 108.27 106.60 106.80	160.94 160.96 158.01 158.12	24H 寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで